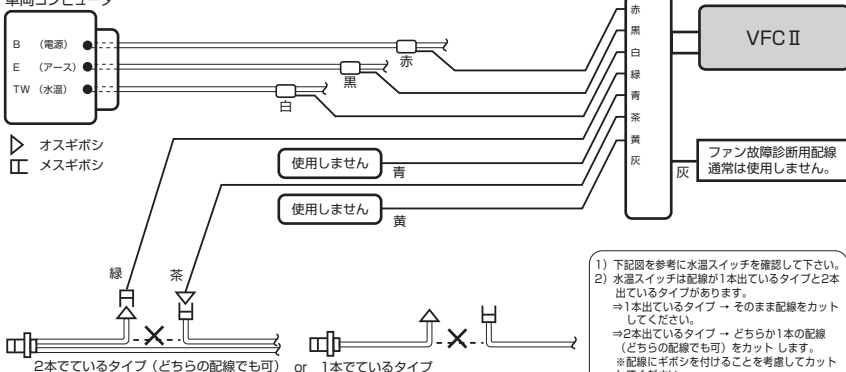
取付に際して（イグニッションON時は、絶対にカプラーの抜き差しをしないで下さい。）

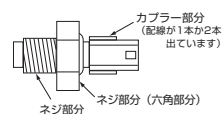
《取付方法》

1. エンジンを停止させ、取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取外して下さい。
2. ECU端子図は、P11以降の車種別図面を確認して下さい。
3. ECU端子図が正しいことを確認する為、サーキットテスターにて各部電圧チェックを行います。
   B−E間電圧：12V〜14V　 TW−E間電圧：0.2〜2V（暖気時）
4. 下記取付図を参考に、本体取付を行って下さい。
5. 取付が完了したら、「初期設定」の頁を参考に設定を行って下さい。

配線方法 8

TOYOTA	EP82(MTのみ)　AE92　AE101　AE111　ST202,5,6　JZA70,80(〜H9/9ターボ車のみ) JZX90(NA)　JZX100(ターボ車)　JZZ30(ターボ車)　JZS147(NA)　AW11(S/C)
MAZDA	FC3S(前期)　DAJPF(フェスティバ)　JCESE(コスモ)

車 名	型 式	エンジン型式	年 式	位 置
カローラレビン／スプリンタートレノ MR2(S/C)	AE92	4AG	S62/05〜H3/06	③
	AE101	/4AGZ	H3/06〜H7/04	③
	AE111		H7/05〜	③
	AW11			②
スターレット セリカ／カレン	EP82	4EF（T）	H1/12〜H7/12	③
	ST202,6	3SG	〜H9/11	①
	ST205	3SGT		①
スープラ	JZA70	1JZGT	H2/8〜H5/4	②
	JZA80	2JZGT	H5/5〜	②
マークⅡ／クレスタ／チェイサー	JZX90	1(2)JZGE	H4/10〜H8/9	①
	JZX100	1JZGT	H8/9〜	①
アリスト	JZS147	2JZGE	H3/10〜H9/8	②
RX−7	FC3S	13BT	S60/9〜H1/3	④
コスモ	JCESE	20B	H2/2〜	④
フェスティバ	DAJPF	BJ	H4/4〜	③

◎水温スイッチの確認
水温スイッチはイグニッションキーをONにしてスイッチのカプラーを抜くと電動ファンが回ります。この方法にて水温スイッチを確認して下さい。

◎ 水温スイッチ取付け場所　　◎水温スイッチの形状

①ラジエーターロアタンク（2Pカプラー／どちらか1本の配線を加工）
②ラジエーターロアタンク（2Pカプラー／どちらか1本の配線を加工）
③ラジエーターロアホースのエンジン側付け根、サーモスタットカバー付近にあるセンサー（1Pカプラー）
④サーモスタットケース上側（1Pカプラー）

【本体とハーネスの接続及び、固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体後方にカプラーを差し込んで下さい。
- P1・P2を参考に初期設定を行い、作動チェックを行って下さい。
- 本体・配線は、運転動作の妨げとならない様に両面テープ・束線バンド等にてしっかり固定して下さい。
  ※車内は異常に高温となる可能性があります。直射日光の当たる箇所に配置すると、思わぬトラブルを引き起こす危険性があります。
- 固定が完了したら、再びエンジンをかけて本体の作動チェックを行って下さい。
- 取付後、作動しない場合は、「トラブルシューティング」の頁をご参照下さい。